

2021年3月期第2四半期累計 決算説明資料

菊水電子工業株式会社
www.kikusui.co.jp



電気安全規格試験マルチアナライザ
TOS9300シリーズ

目次

会社紹介

P3～

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

P12～

2021年3月期 連結業績予想

P23～

今後の事業戦略

P25～

会社紹介

会社紹介

● 会社概要 (2020年9月末現在)

社名(銘柄コード)	菊水電子工業株式会社(6912)	
設立	1951年(昭和26年)8月8日	
資本金	22億125万円(3月決算)	
発行済株式数	9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容	各種電子計測器・産業用電源装置・ソフトウェアの設計、製造、販売及び輸出入	
大株主 (自己株式は含まず)	株式会社ケーティーエム	10.94%
	菊水取引先持株会	10.13%
	菊水電子工業従業員持株会	4.78%
	株式会社みずほ銀行	4.33%
	小林寛子	4.17%
	日本生命保険相互会社	3.62%
	アジア電子工業株式会社	2.70%
	ケル株式会社	2.65%
	株式会社三菱UFJ銀行	2.58%
	橋本幸雄	2.26%
代表者	代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)	325名(2020年9月末現在) []は前年比増減	
	研究開発:	92名 [-4]
	生産・購買:	88名 [+13]
	営業:	111名 [±0]
	管理:	34名 [+4]

例年のテクノフロンティアに代わるWEB展示会を自主開催



顧客接点の拡充による訪問営業活動の補完



アウトレットセール開催



販売支援策としてインパウンドマーケティングを強化

会社紹介

● 国内外拠点・関連子会社



会社紹介

沿革

1951
昭和26年

株式会社菊水電波設立
8月8日、東京都大田区馬込にて
資本金20万円、従業員1名、従業員数を増進
主要製品はラジオ用ダイヤル

創業社長 小林 健
(当時の写真、右1番)

創業時のダイヤル

創業時の建物

創業メンバー
小林正樹 (取締役)、小林 健 (総務部長)、尾崎保彦 (副社長)
渡辺正彦 (取締役)、一柳敏彦、三島 博也

1957
昭和32年

ダイヤルから
測定器メーカー菊水へ
計測器がダイヤルの売上を上回る
OEMのトランジスタラジオも生産

低周波デイクード発振器
DR10-350A
磁気コアデイクード方式
なみなり便利な製品であった

ロングウェーブTRラジオ
TR-804
FM放送して11.1
トランジスタラジオ

1961-62
昭和36~37年

菊水電子工業株式会社
へ社名を変更
東京都大田区馬込区民会館
1階事務所をこのビルに移す

ダイナミック・インダクタンス
507A
大田区民会館1階事務所へ移転
東京都大田区馬込区民会館
1階事務所をこのビルに移す

1966-68
昭和41~43年

第一次創業の店
品出し開始
計測器の生産と販売、修理、保守
計測器の生産と販売、修理、保守
計測器の生産と販売、修理、保守

昭和41~43年
東京大田区馬込区民会館1階事務所
計測器の生産と販売、修理、保守
計測器の生産と販売、修理、保守

1971-74
昭和46~49年

創業15周年
第一次創業の店
色紙、お札に創業15周年
電子計測器の導入

1981-82
昭和56~57年

米空軍との大型商談
オシロ 7100台 (20億円)
オシロの商談として世界最大の取引
北関東某研究所

計測器で米軍の一番札
毎日新聞
計測器で米軍の一番札
毎日新聞
計測器で米軍の一番札
毎日新聞

1985-88
昭和60~63年

オシロスコープCOM3000シリーズ
グッドデザイン産業機械部門大賞を受賞
オランダに「菊水ヨーロッパ」を設立
英国マルコーニ、インスツルメンツ社と
日本総代理店契約締結

計測器業界初の快挙！
グッドデザイン産業機械部門
大賞を受賞した
オシロスコープ
COM3000シリーズ

オシロスコープ COM7000シリーズ
営業が承かすとも広告だけで
どんどん注文が舞い込んだヒット製品

1989-91
平成元~3年

株式会社店頭公開
西東京営業所 開設
専用物流会社
ケイアールシー株式会社設立

1991年11月
株式会社店頭市場に新規公開
公開による新株発行数：75万株
発行価格：2,330円/1株

1990年6月
立川市に
西東京営業所
開設

株式会社公開の日本社 (川崎市中原区)
平成3月期 売上高112億、従業員数398名であった

2000-01
平成12~13年

ISO14001認証取得
IT(ITPL)推進による事業効率化
ISO14001取得
ISO14001取得
ISO14001取得

2001年発表の4編のグッドデザイン賞を受賞！
GOOD DESIGN AWARD 2001

1995
平成7年

ISO9001認証取得
当社ホームページ開設
全国営業拠点をオンライン化

1995年12月22日
品質マネジメントシステム
ISO9001認証を取得
登録証番号JGA-1100

●ホームページ開設
●営業拠点をオンライン化
●品質マネジメントシステム
ISO9001認証取得
●全国営業拠点をオンライン化

会社紹介(事業概要)

● 事業活動トピックス



<中国>



<米国>



<欧州>

<新製品>

<経営施策>

2005

・大連化学物理研
(DICP)技術提携

・キクスイ・アメリカ設立(販売拠点)

- ・PATシリーズ(直流)
- ・KHA1000(EMC)
- ・PLZ6000R(回生負荷)
- ・TOS3200(漏洩電流試験器)
- ・PWR、PCR-Mラインアップ追加



・創立55周年記念行事

2006

・菊水貿易(上海)
設立(販売拠点)

・グローバル製品上市
(PCR-Mシリーズ)



・PATスマートラック

・国内営業所統廃合

2007

2008

・欧州代理店網再編…
・Electronica 2008出展

- ・KHA3000(EMC)
- ・PFX2511(バッテリー充放電試験システム)

- ・TOS5300シリーズ(耐電圧・絶縁抵抗試験器)
- ・Milla-E50(電気自動車(EV)急速充電器)

2009

・菊水貿易(上海)の分公司統廃合
・生産拠点の合理化(菊水電子(蘇州)閉鎖)

・Electronica 2010出展

2010

2011

- ・PCR-LEシリーズ(高機能交流電源)
- ・PWXシリーズ(薄型直流電源)

・創立60周年記念行事

2012

・Electronica 2012出展

- ・PCR-LE、PWXラインアップ追加
- ・Milla-E20(電気自動車(EV)急速充電器)



- ・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器)
- ・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充

2013

・深圳分公司設立

2014

・Electronica 2014出展

- ・TOS7210S(PID絶縁試験器)
- ・TOS5200(耐電圧試験器)



・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)

2015

2016

・Electronica 2016出展

・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)

・富士勝山事業所にデモルーム開設
・Webサイト「KIKUSUI mag」開設



・PWR-01シリーズ(直流電源)

・本社移転

2017

・ソリューションWEBサイト開設

・ソリューションWEBサイト開設

・PCR-WE/WE2シリーズ(交流電源)



2018

・北京分公司設立

・トーランス市に移転

・Electronica 2018出展

・TOS9300シリーズ(電気安全規格試験マルチアナライザ)



2019

・ドイツ駐在員事務所を開設

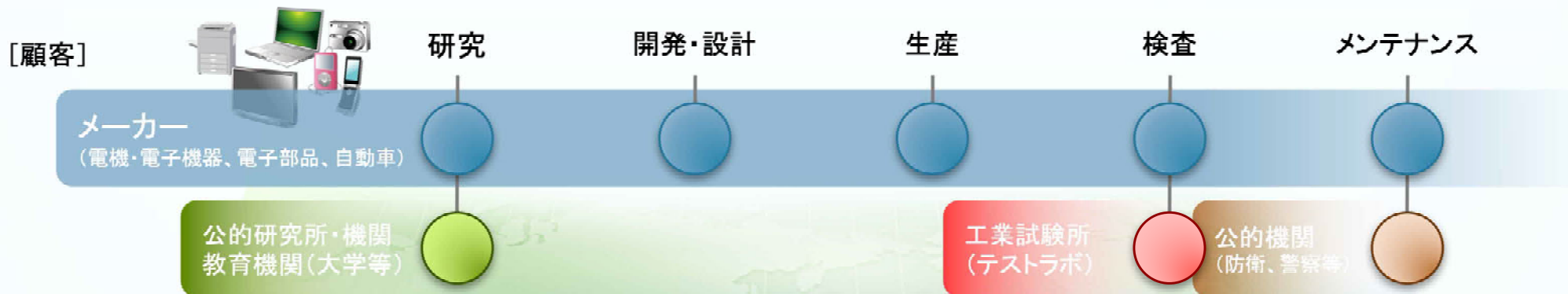
会社紹介

● ビジネスモデル

当社の独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)



グローバルに販売展開！

電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、またEV用バッテリーの絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

直流電源



交流電源



電子負荷



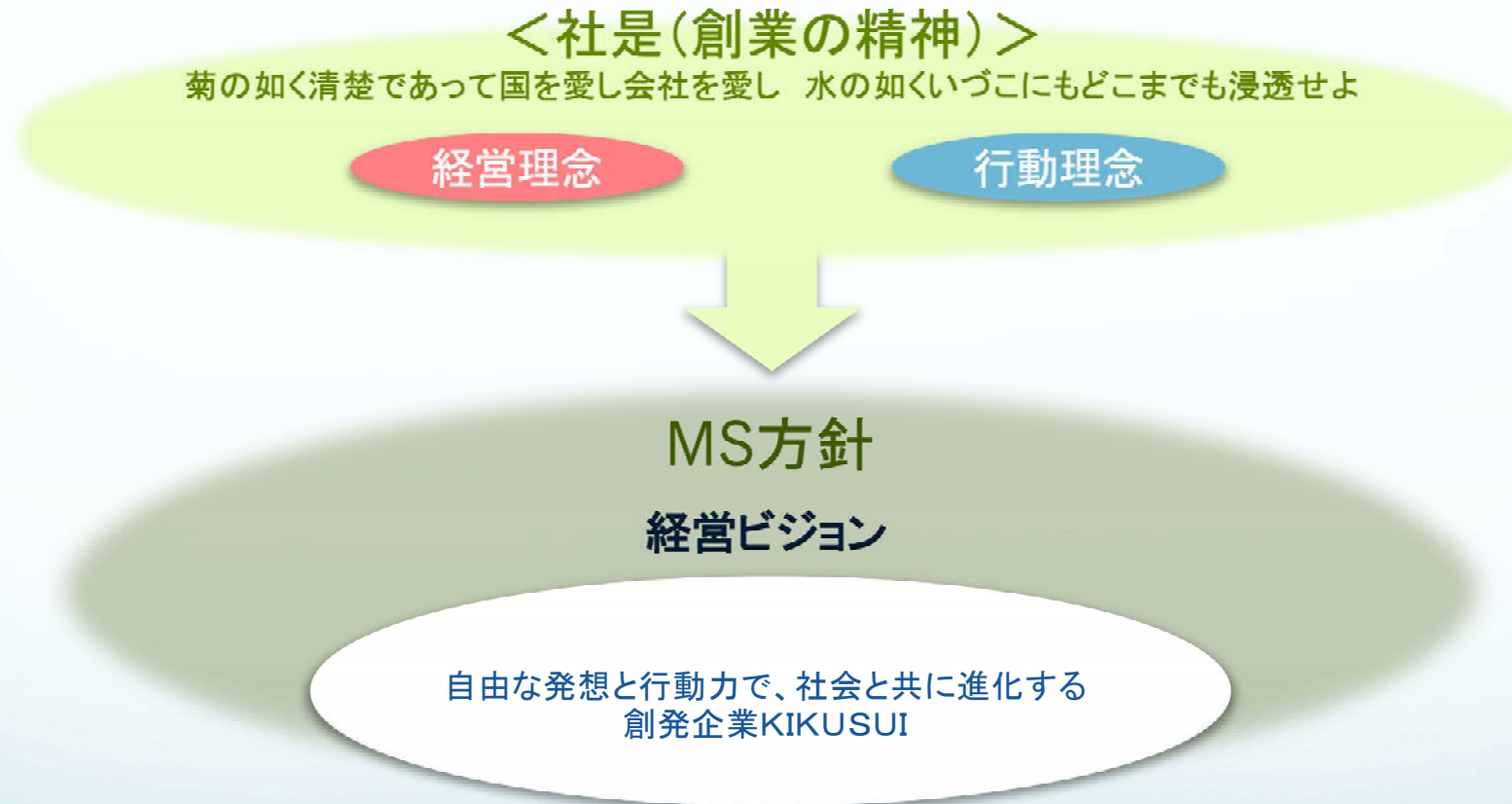
会社紹介(事業概要)

● 市場と製品



会社紹介

- コーポレートステートメント



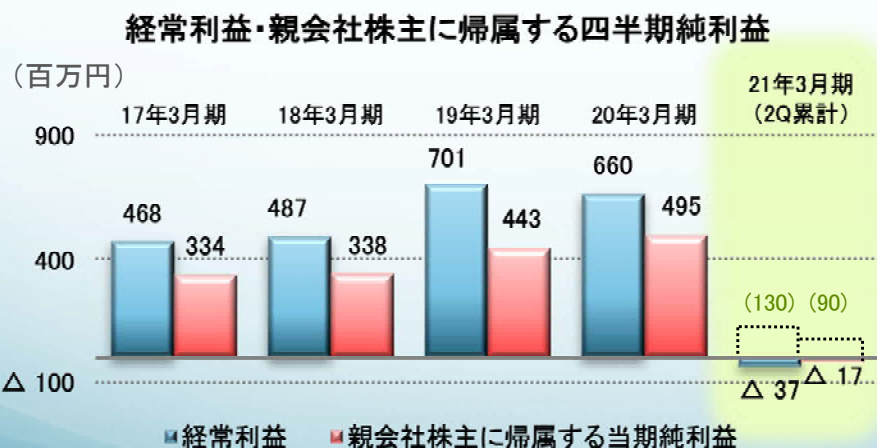
2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要



● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大により製造業における工場の操業一時休止、サプライチェーンの混乱及び物流の停滞、さらに世界的に需要が減少したことによる影響を受け、極めて厳しい状況にありました。

このような状況の中、当社グループは、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めてまいりましたが、取引先の設備投資の凍結、先送り等により大変厳しいものとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、34億9千8百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、営業損失6千2百万円(前年同期は2億2千万円の営業利益)、経常損失3千7百万円(前年同期は2億3千万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1千7百万円(前年同期は1億6千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 損益計算書

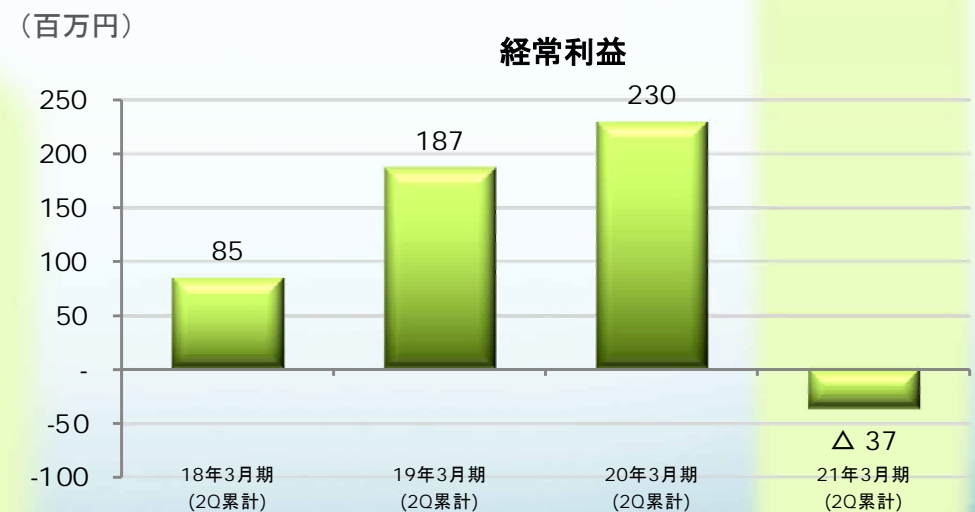
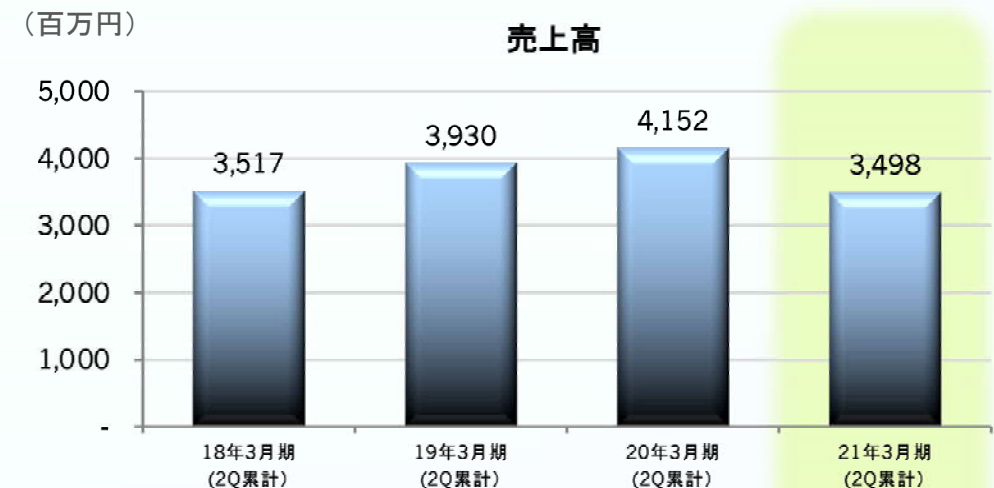
	20年/3月期(2Q累計)		21年/3月期(2Q累計)		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	4,152	100.0	3,498	100.0	△654	△15.8
売上原価	1,953	47.1	1,724	49.3	△229	△11.7
売上総利益	2,198	52.9	1,773	50.7	△424	△19.3
販売費及び一般管理費	1,977	47.6	1,836	52.5	△141	△7.1
営業利益又は営業損失	220	5.3	△62	△1.8	△283	-
営業外収益	37	0.9	43	1.2	5	15.7
営業外費用	28	0.7	18	0.5	△10	△36.2
経常利益又は経常損失	230	5.5	△37	△1.1	△267	-
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失	230	5.5	△37	△1.1	△267	-
法人税等	66	1.6	△19	△0.6	△86	-
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属す る四半期純損失	163	3.9	△17	△0.5	△181	-
1株当たり四半期純利益	19.78円		△2.17円			

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 売上高と経常利益

- **売上高: 3,498百万円**
【前年同期 4,152百万円】 **△15.8%**
- **経常損失: 37百万円**
【前年同期 経常利益 230百万円】
- **親会社株主に帰属する
四半期純損失: 17百万円**
【前年同期 四半期純利益 163百万円】



Point



重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による取引先の設備投資の凍結、先送り等により大変厳しいものとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、34億9千8百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、営業損失6千2百万円(前年同期は2億2千万円の営業利益)、経常損失3千7百万円(前年同期は2億3千万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1千7百万円(前年同期は1億6千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 製品群別売上概況

- 電子計測器: 707百万円
【前年同期 941 百万円】 $\Delta 24.8\%$
- 電源機器: 2,636百万円
【前年同期 3,058 百万円】 $\Delta 13.8\%$
- その他: 154百万円
【前年同期 152百万円】 $+1.2\%$

Point



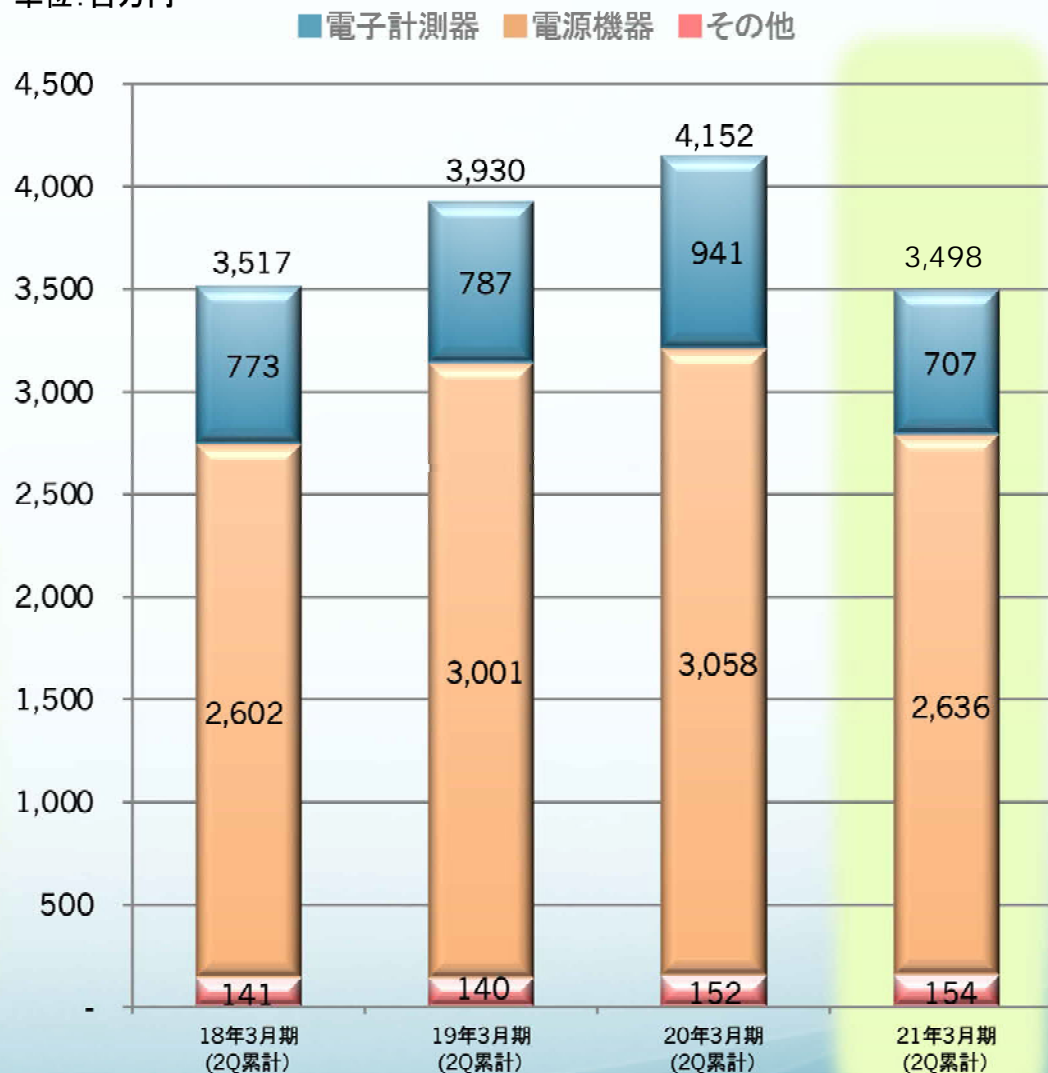
「電子計測器群」

航空機用電子機器の測定器は低調に推移いたしました。また、安全関連試験機器は、耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場に動きがありましたが、製造業における工場の操業一時休止等経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

「電源機器群」

直流電源は、宇宙産業市場、半導体関連市場及び5G(第5世代移動通信システム)関連の需要増加等によるICT関連市場への評価試験や装置駆動用電源として動きがありました。交流電源は、車載関連市場、ICT関連市場及び冷凍空調市場への評価試験や製造設備用として動きがありました。電子負荷装置は、車載関連市場及び電子部品市場への評価試験用として動きがありました。しかしながら、製造業における工場の操業一時休止等経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

単位: 百万円



2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 製品群別売上高構成比

- 電子計測器: 20.2%
【前年同期 22.6%】 $\Delta 2.4\%$
- 電源機器: 75.4%
【前年同期 73.7%】 $+1.7\%$
- その他: 4.4%
【前年同期 3.7%】 $+0.7\%$

Point



電源機器の構成比率が増加し、電子計測器の構成比率が減少しました。

■ 電子計測器
■ 電源機器
■ その他



● 製品群別売上総利益率

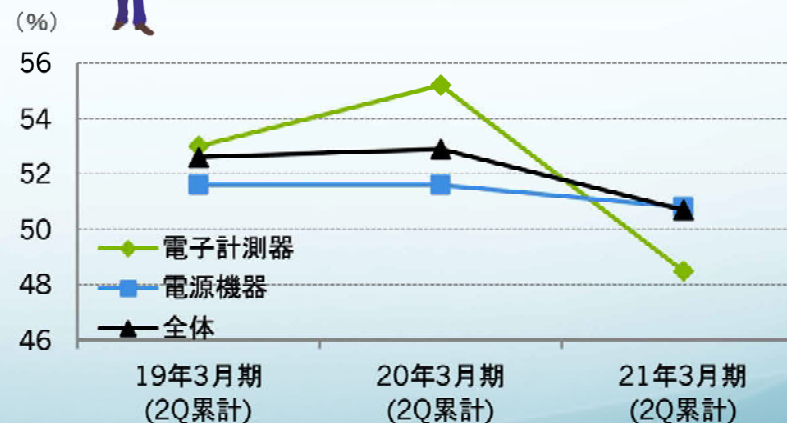
- 電子計測器: 48.5%
【前年同期 55.2%】 $\Delta 6.7\%$
- 電源機器: 50.8%
【前年同期 51.6%】 $\Delta 0.8\%$

売上総利益率: 50.7%
【前年同期 52.9%】 $\Delta 2.2\%$

Point



原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴い売上総利益が減少しました。



2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 海外売上高

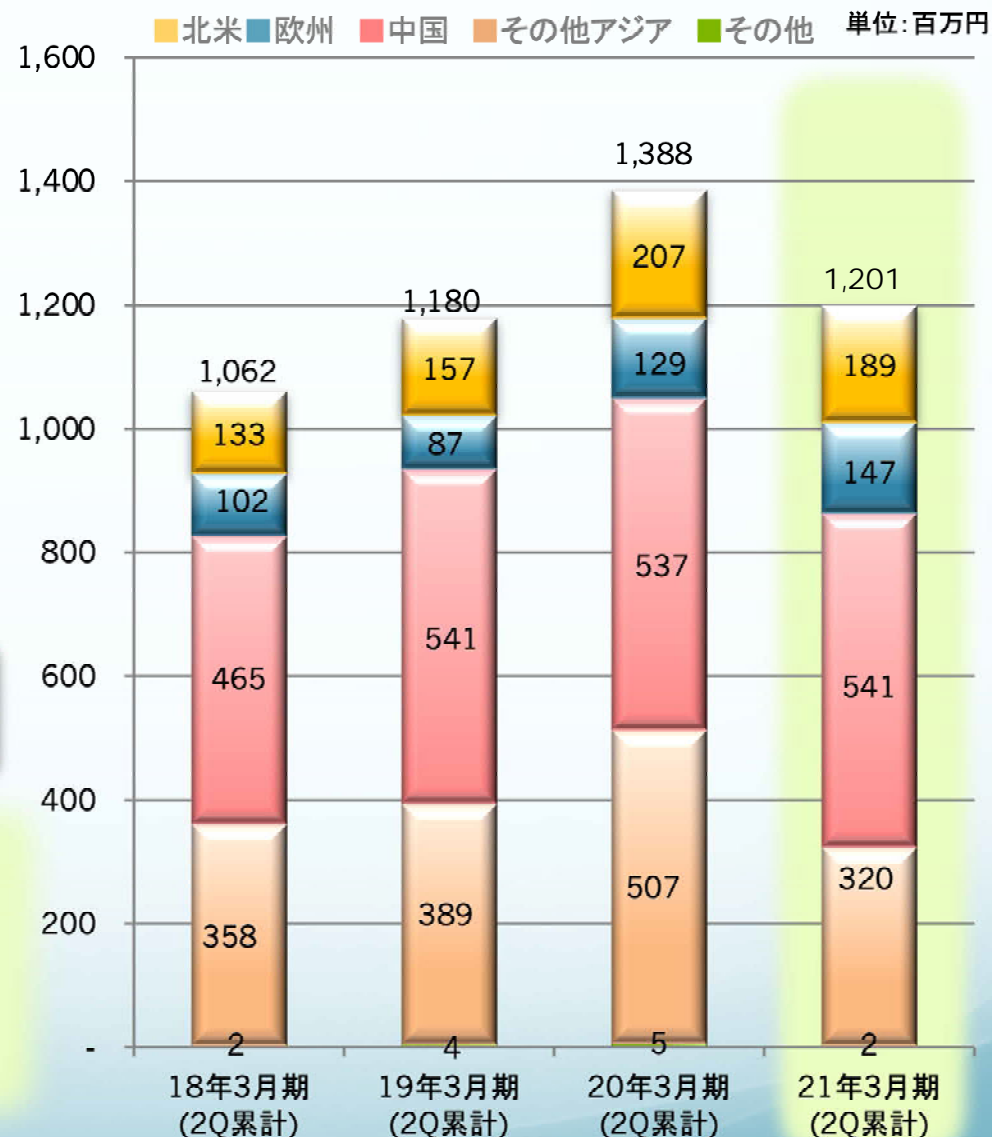
- 北米: 189百万円
【前年同期 207百万円】 $\Delta 8.6\%$
- 欧州: 147百万円
【前年同期 129百万円】 $+13.8\%$
- 中国: 541百万円
【前年同期 537百万円】 $+0.7\%$
- その他アジア: 320百万円
【前年同期 507百万円】 $\Delta 37.0\%$
- その他の地域: 2百万円
【前年同期 5百万円】 $\Delta 52.7\%$

海外販売高合計: 1,201百万円
【前年同期 1,388百万円】 $\Delta 13.5\%$

Point



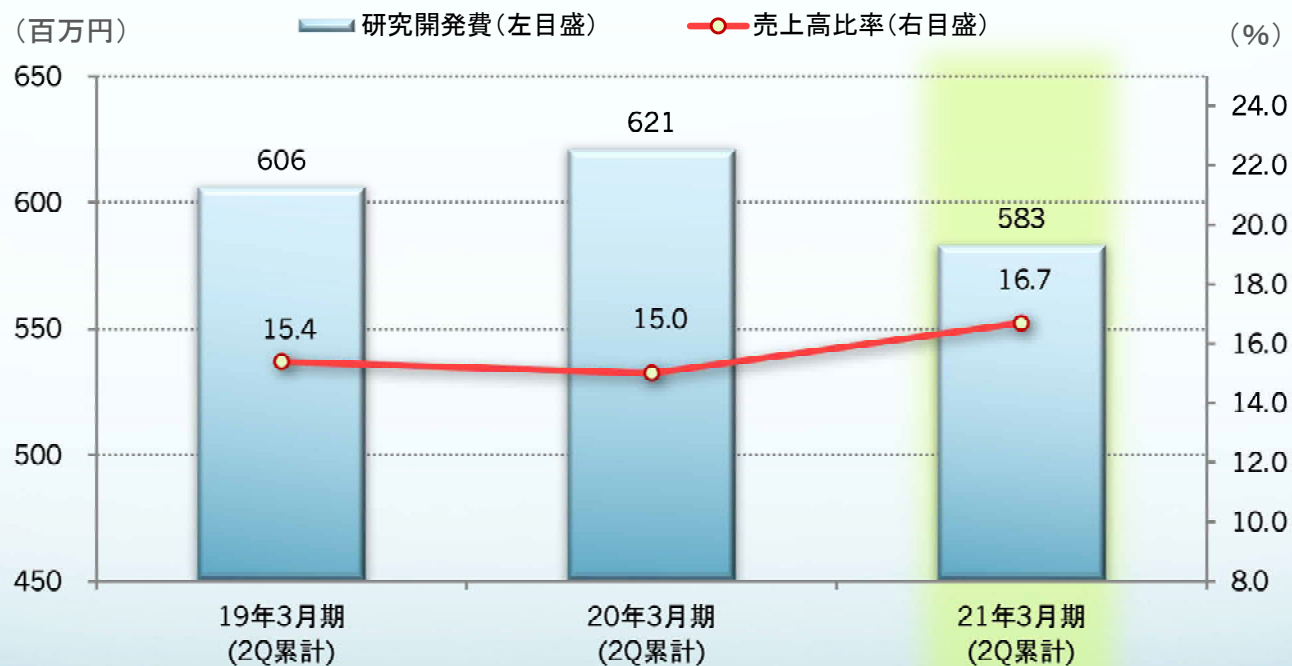
米国では、宇宙産業市場への直流電源が好調に推移いたしました。欧州では、経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。アジアにおいては、中国では米中貿易摩擦等の影響があったものの、電池関連市場への安全関連試験機器、サーバー・ICT関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。一方、韓国及び東南アジアにおいては経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。



2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 研究開発投資 (対売上高比率)

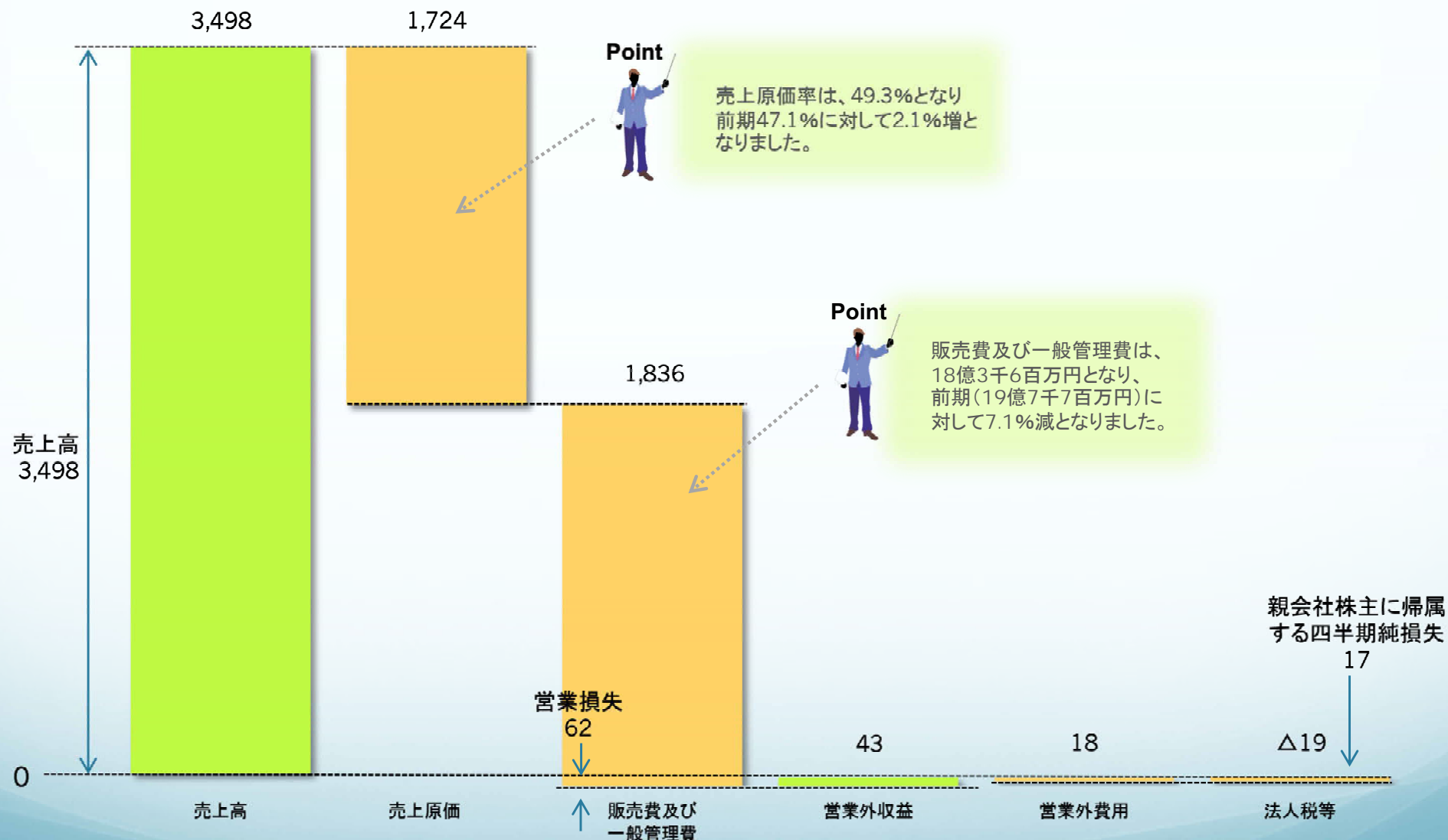
- 583百万円(16.7%)
【前年同期 621百万円(15.0%)】



2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 損益の概況

(百万円)



2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 貸借対照表

(百万円)

【資産の部】	20/3/31	20/9/30	増減
流動資産合計	6,945	6,250	△695
固定資産合計	4,710	5,026	316
資産合計	11,655	11,276	△379
【負債の部】	20/3/31	20/9/30	増減
流動負債合計	1,564	1,118	△445
固定負債合計	585	638	52
負債合計	2,150	1,756	△393
【純資産の部】	20/3/31	20/9/30	増減
資本金	2,201	2,201	-
資本・利益剰余金	7,834	7,634	△200
自己株式	△806	△789	17
その他の包括利益累計額合計	276	473	197
純資産合計	9,505	9,519	14

2021年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円	18年/9月期	19年/9月期	20年/9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	228	250	497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353	△179	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	△191	△192
現金及び現金同等物の増減額	△340	△130	68
現金及び現金同等物の期首残高	2,533	2,206	2,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,192	2,076	2,532

Point



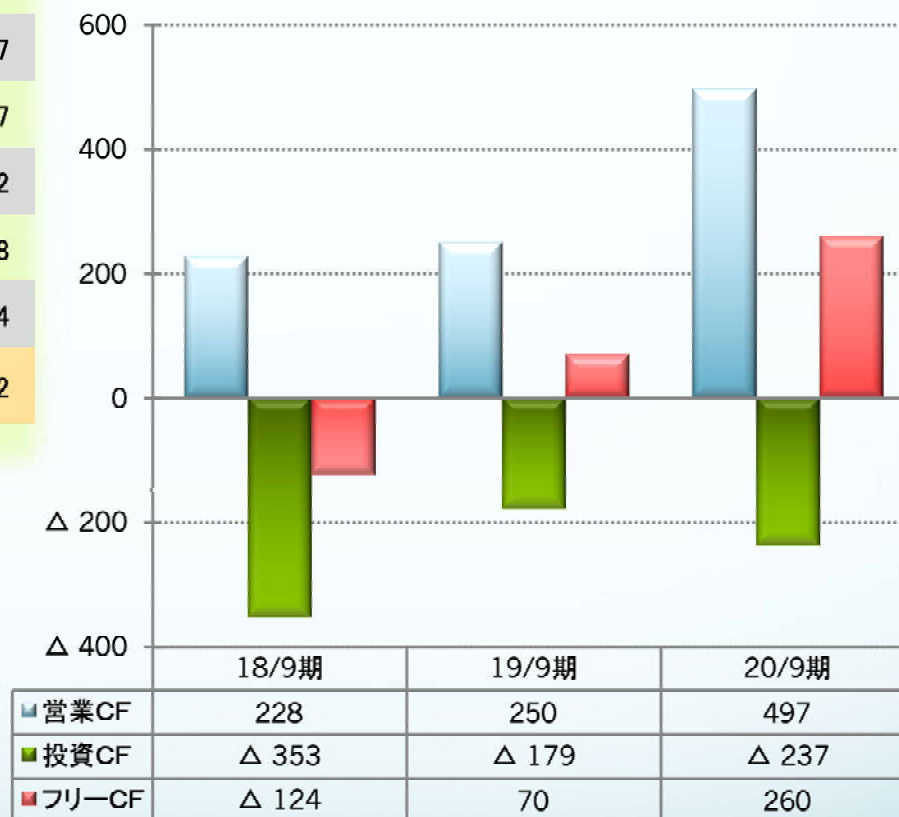
営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等による資金の増加が、たな卸資産の増加等による資金の減少を上回り、4億9千7百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、△2億3千7百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、△1億9千2百万円となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、6千8百万円増加し、25億3千2百万円となりました。

(百万円)



2021年3月期 連結業績予想

2021年3月期 連結業績予想

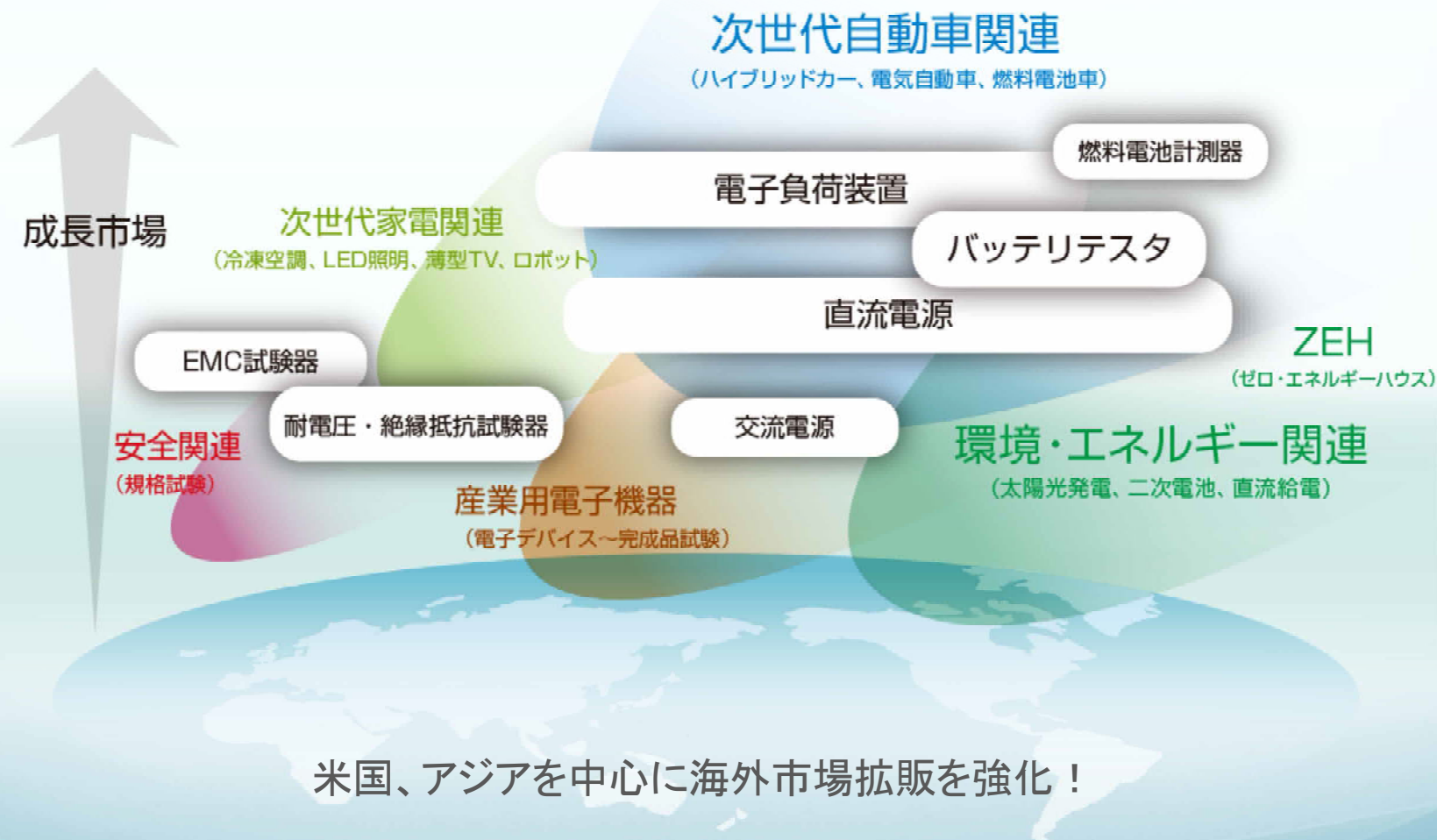
	20年/3月期	21年/3月期		
	通期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	9,072	7,500	△1,572	△17.3
営業利益	654	100	△554	△84.7
経常利益	660	130	△530	△80.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	495	90	△405	△81.8

	20年/3月期	21年/3月期	
	通期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)
1株当たり 配当金	23.00	20.00	△3.00

今後の事業戦略

今後の事業戦略

次世代自動車分野に注力



本資料における注意事項

本資料は、2021年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2020年10月29日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水電子工業株式会社 総務部 IR担当

TEL: 045(482)6912 E-mail: ir@kikusui.co.jp URL: <http://www.kikusui.co.jp/>